

瀬戸内海 アートな旅(1/2)

アートな直島と栗林公園

4/23/2017

北村社会福祉士事務所

代表 北村弘之

横浜から一気に新幹線で岡山駅。そこからはローカル線にて宇野港へ。かつて瀬戸大橋が開通する前までは四国高松との連絡船で賑わった港です。現在では、小豆島など瀬戸内海に浮かぶ島々への観光客や住民の足となっています。今回は、瀬戸内海の「直島」に行ってきました。

宇野港から船に乗り約 15 分で到着。驚くことに乗船客の 8 割が海外の人なのです。西洋の人が圧倒的に多く、最近では韓国の人も多いと聞きました。ここは海外なのではないかと錯覚したほどです。当然、直島は、住民以外は殆ど海外の旅行客でした。

島の南部分はアートな街並で民間会社ベネッセが運営しています。代表的な「地中美術館」の他、ホテルやロッジ、また住民が住んでいる街並みのいくつかは、アートな家に変身していました。そのアートな家の一軒「茶話まつしま」に入り休憩しましたが、何と 100 年前からの酒屋を改装した店なのです。そこには和紙などを素材にした百瀬寿さんの作品が飾られており、昔ながらの落ち着いた空間でした。店主の女性は、千葉幕張から帰郷した女性で、ここでコーヒ店を営んでいますが、元酒屋(母親が営んでいた)の面影か日本酒なども販売していました。また妹さんが(女子美卒)描いた花や実の色彩あふれる絵が絵葉書になって壁一面に飾られていました。(写真左上 5) 写真中央は美術家百瀬寿さんの作品です。



絵葉書(左壁)と百瀬寿さんの作品(四角)

1 日目の泊まりは、ベネッセのシーサイドパークです。美術作品が館内や庭のいたるところにありました。目の前には瀬戸内海の穏やかな海が広がるプライベートビーチのあるモダンな造りは、リゾート気分そのものです。部屋にはテレビはおいてありません。これは、日常の喧騒から離れてアートと建築に親しむことをコンセプトにしているからというのです。ひと時 Bose から聞こえてくる音楽を楽しみました。また、夕食後は館内の美術展示物の説明ガイドがあり、作品そして作者の想いを聴くことができました。その後、別棟にあるベネッセハウスミュージアムに行き、現代アートを鑑賞してきました。ここはまさに、美術館の中にある宿泊ホテルなのです。庭園から部屋を見ると、のんびりと読書をしている海外の宿泊者がありました。

このまま、瀬戸内海の穏やかな海をずっと眺めていたいと思う自分が不思議でした。

翌朝、散歩がてらに朝食前に野外のアート作品を見に出かけ、ここちよい潮風とアートに触れ、リフレッシュできた早朝でした。朝食のレストランもやはり海外のお客様ばかりでした。



部屋から見るプライベートビーチと瀬戸内海



パークホテル

埠頭にあった「かぼちゃ」
(草間弥生作品)



また、島の北半分は、100年前から続く三菱マテリアルの精錬所があり、貴金属のリサイクルで銅の再生をしていました。島民約3千名の多くは、この精錬所の従業員や家族ということで、直島はまさに企業城下町でもありました。

2日目は、「うどん県」高松市にフェリーで渡りました。瀬戸内海を東に西に航海する船を見ながら、直島から約1時間。大型タンカーや荷物を運ぶ大小の船を見ながら、これらが日本経済の原動力の一翼になっていると思った次第です。

香川県は日本で一番面積の小さい県で、人口は約100万人とタクシーの運転手から聞きました。

フェリーを降り、向かった先は名勝庭園で有名な栗林公園に向かいました。公園名に「栗林」とあっても、実際にはすばらしい「松」と池、そして裏山を借景にした庭園です。三大名園にも劣らずの立派なものでした。多分長年の手入れの多さがそうさせたのかもしれませんが。ここではボランティアの中山さんに約1時間ガイドしていただき庭園巡りをしました。箱松や屏風松といった独特な松には中山さんの説明に力が入っていました。松の木は総数1,400本。そのうち1,000本は県の職員14名で手入れしているとのこと。当日も高い松の木の剪定や草を刈っていました。写真にある「鶴亀松」は、まるで盆栽のように手入れしてあり、悠然とした姿はどっしりと根を張っていました。庭園内の茶室掬月亭で、池に浮かぶ小舟を見ながら抹茶をいただきましたが、何か殿様気分のような感じでした。

昼食は、中山さんに紹介していただいた「うどん」店、上原屋本店です。殆どの客は地元の人で、いかに「うどん県」であるかということがわかりました。13時を過ぎているのに順番待ち。そして、茹で上げるうどはセルフ。トッピングには、じゃこかつ(宇和島名産)やタコの天ぷら、そしておでんや巻物寿司と、多種なものが選べるのも楽しみのひとつでした。慌ただしく食べてしまいましたが安くて早く、そして何と言ってもダシが私の好みの味でした。短い時間を過ごした「うどん県」でしたが、気持ちの落ち着く良い時を過ごすことができました。



見事な「鶴亀松」)



うどん屋



記念撮影 栗林公園

(続く) 以上